



図16 桐生市内の渡良瀬川の河川敷における相対光量子密度の季節変化

桐生大橋上流（左図）および松原橋上流（右図）における測定結果を表す。光量子密度を、各回各地点につき5回測定し、その前後に隣接する裸地での測定値を100%として相対値を算出した。縦線は標準偏差。n=5。